

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-03-02	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	日暮里駅総合改善事業	部課名	防災都市づくり部交通対策課	課長名	平野
		担当者名	白井	内線	2814
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業 ●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成 14年度		根拠	鉄道駅総合改善事業費交付要綱（国交省）	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画	
行政評価事業体系	分野	VI	安全安心都市		
	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備		
	施策	03	総合的な交通体系の整備		
目的	日暮里駅の混雑緩和やバリアフリー化、乗り換え負担の軽減を図るため、鉄道施設等の建設およびその施設の貸付けや維持管理を行う。				
対象者等	・事業主体 日暮里駅整備株式会社（第3セクター）				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイライナー利用者の利便性・快適性の向上 ・朝夕ラッシュ時の混雑緩和 ・バリアフリー化の推進 ・乗換利便性の向上を図るため駅の改良 ・鉄道施設等の建設 ・鉄道施設等の貸付 ・鉄道施設等の維持管理 				
経過	<p>平成13年 5月 国土交通省「首都圏空港アクセス改善緊急対策」で「日暮里駅の総合改善」を発表</p> <p>8月 都市再生プロジェクト（第二次決定）において成田ブルー（成田スカイアクセス線）の早期整備が位置付けられる</p> <p>14年10月 日暮里駅整備株式会社設立（荒川区出資51%）</p> <p>18年 3月 計画上り線切替え</p> <p>19年 7月 京成線・JR連絡口統合化</p> <p>21年10月 日暮里駅計画下り線完成。新京成日暮里駅完成式典</p> <p>22年 3月 日暮里駅工事完了</p> <p>22年 7月 成田スカイアクセス線開業</p> <p>荒川区が成田スカイアクセス開業記念式典『NN36Festival in ARAKAWA』を開催</p>				
必要性	平成13年5月、国土交通省から「首都圏の空港アクセス改善緊急対策について」が提言され、課題として日暮里駅の総合的改善が示された。鉄道駅総合改善事業の実施にあたっては、区と京成電鉄が出資して設立した日暮里駅整備株式会社が事業主体となった。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・事業主体（日暮里駅整備株）へ区は51%（510万円）出資している。 ・整備費の一部として、国20%、地方20%（都15%、区5%）の補助を行った。				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		予算額	220,750	6,078	—	—	—	—
①決算額（27年度は見込み）	209,750	4,014	—	—	—	—	—	
②人件費等	3,258	3,052	1,694	2,891	4,159	3,863	—	
③減価償却費	—	1,017	622	1,129	1,690	1,626	—	
【事務分担当量】（%）	40	35	20	35	50	50	—	
合計（①+②+③）	213,008	8,083	2,316	4,020	5,849	5,489	0	
特定財源	国	—	—	—	—	—	—	—
	都	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—
一般財源	213,008	8,083	2,316	4,020	5,849	5,489	0	
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	日暮里駅総合改善事業補助金（千円）	209,750	—	—	—	—	—	—

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 一日あたりの乗降客数（人） （京成日暮里駅）	94,853	96,428	95,301	96,000	-	京成電鉄発表値
	②						
	③						

問題点・課題 （指標分析）	日暮里駅整備㈱の適切な運営に関する調整（京成電鉄㈱に事務業務委託）
	（実施 3 区 未実施 19 区 不明 0 区） 京浜急行蒲田駅（大田区）、西武新宿線下井草駅（杉並区）、西武池袋線東長崎駅（豊島区）
他区の実 施状況	

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む 具体的な改善内容	平成26年度に実施した 改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	今年度以降も、利用者の利便性向上に向けた取組みを継続して進めていく。	日暮里駅整備㈱の株主総会及び取締役会の実施	利用者の利便性向上に向けた継続的取組み。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	日暮里駅整備㈱の適切な運営に関する調整を行う。

議 会 要 旨 問 状	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年四定 日暮里駅総合改善計画と京浜東北線日暮里駅停車について 平成16年四定 駅総合改善事業の騒音対策について 平成22年一定 成田新高速鉄道開業イベントの開催について
----------------------------	--

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	調査業務委託	2,615	報償費	委員謝礼	110	報償費	委員謝礼	100
			需用費	会議用賄い・消耗品費	103	需用費	会場賄い・消耗品	31
			使用料等	会場使用料	21	使用料等	会場使用料	31
			工事請負費	停留場環境整備	9,825			
			負担金補助等	車両購入補助	5,000			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 「さくら」 乗車人数（一日あたり）（人）	1,454	1,551	1,556	1,700	2,350	
	② 「汐入さくら」 乗車人数（一日あたり）（人）	1,168	1,269	1,280	1,400	1,500	
	③ 「町屋さくら」 乗車人数（一日あたり）（人）	341	467	531	600	800	

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に実施した運行見直し後の利用者の動向 更なるサービス向上に向けた検討
	他区の実況 （実施 18 区 未実施 4 区 不明 0 区） 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、北区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む 具体的な改善内容	平成26年度に実施した 改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	「町屋さくら」一部区間の往復運行	平成26年11月1日から一部区間の往復運行を実施	利用者へのサービス向上 安定した運行 さらなるPR
②	「さくら」逆回り路線の拡充運行	平成27年3月29日から逆回り路線の拡充運行を実施	利用者へのサービス向上 安定した運行 さらなるPR
③	「汐入さくら」中型車両の運行	平成27年3月29日から中型車両の運行を実施	利用者へのサービス向上 安定した運行 さらなるPR

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
重点的に推進	推進	既存路線の見直しに対する効果の検証や利用者への更なるサービス向上により、より良いコミュニティバスを目指す必要がある。

況議 （要 旨） 問 状	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年三定 コミュニティバス「さくら」の尾久地域への導入について 平成24年四定 コミュニティバスの区内全地域への導入 平成27年2月会議 コミュニティバスについて
--------------------------	--

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	関連協議会分担金	50	報償費	委員謝礼	351	報償費	委員謝礼	218
			旅費	近接地内旅費・近接地外旅費	180	旅費	近接地内旅費・近接地外旅費	121
			需用費	委員会賄い・消耗品費	168	需用費	委員会賄い・消耗品費	207
			負担金補助等	連絡協議会分担金	50	負担金補助等	連絡協議会分担金	80
			報償補填及び賠償金	示談及び賠償金	25			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 輸送実績 TX全線 (一日あたり) (万人)	30.5	32.3	32.5	33.5	-	経営安定化のための利用促進を図る
	② 輸送実績 南千住駅 (一日あたり) (人)	4,400	4,600	4,700	4,800	-	南千住駅周辺活性化のための利用促進を図る
	③						

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> 沿線イメージアップによるTX利用者の増 経営安定化
	他区の実況 (実施 3 区 未実施 19 区 不明 0 区) つくばエクスプレス沿線区(千代田区、台東区、足立区)

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む 具体的な改善内容	平成26年度に実施した 改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	沿線自治体とも連携して協議していく。	沿線11都市の自治体と連携して、イメージアップのための冊子を作成	沿線自治体とも連携して協議していく。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	沿線地区の活性化のために利用促進を図る必要がある。

議会 (要旨) 質問状	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年一定 つくばエクスプレスの運営について 平成14年三定 JR常磐線の北口の新設について 平成18年一定 JR常磐線北口の開設について
-------------------	---